

大山保育園

4歳児保護者会

板橋区立中根橋小学校 2026.1.21

今年度の大山保育園4歳児保護者会には、低学年担任の経験が豊富な生活指導主任がお話に伺いました。



Q:1年生になるまでにどれくらいのことを自分でできると、学校生活に進みやすいですか。

A:トイレの適切な使い方・名前を呼ばれた時の返事・あいさつ・規則正しい生活・早寝、早起き、朝ごはんが大切です。

着替えに関しては、小学校入学後に、体育着の着替えの練習も行いますが、入学前に自宅でも練習していると、子供たちは安心して学校生活が始められると思います。

1年生に入学するに当たって、ひらがなが書けなくてはいけない、数が数えられたり、たし算やひき算ができたりしないと周りの子についていけないのではと不安に思われる保護者の方も多くいらっしゃると思いますが、できないからといって学習についていけないということは決してありません。

ひらがなやたし算・ひき算は入学後に学ぶ内容です。幼稚園や保育園の際は、遊び感覚で楽しみながら取り組むのは、小学校入学に向けての意欲付けになるので良いのですが、できるまで繰り返しやる、興味を示していないのに、「やりなさい」「なんでできないの」など言い、子供たちが学習はやらされるもの、苦しいものなどマイナスのイメージをもってしてしまうことの方が心配です。

子供たちが小学校の勉強楽しみだと思えるような、意欲をもてる声かけをしていただけたらと思います。楽しみと思って入学した子供は、学習に意欲的に取り組む様子が多く見られます。

Q:宿題の量はどれくらいですか。親が丸をつけるのですか。

A:1年生では10分間で取り組める内容の宿題を出しています。お子様の様子を知る上でも丸付けをお願いすることもあります。音読などは聞いて、サインをいただいています。

基本、学年×10分を目安に出しています。保護者の方には、宿題を通してお子さんとコミュニケーションをとるきっかけにして頂ければと思います。「学校でこんな勉強しているんだね。」「こんな問題もとけるの。すごいね。」「ここが苦手なんだね。一問だけ一緒にやってみようか」など褒めたり、励ましたりして頂ければと思います。

「宿題やったの」「宿題やりなさい」「先生に怒られるよ」などの声かけは低学年のうちは、ぐっと我慢して頂ければと思います。「宿題やったの」と言い続けないと、取り組まなくなってしまうことがあります。全部が終わらなくても、頑張ってやったところまで提出し

て頂いても結構です。進め方や悩みごとがあったら、是非、担任に相談してください。お子さんの成長のために一緒に考えていきます。

Q:クラス編制は、どのようにされているのですか。特に一年生は、保育園などからどの程度の申し送りや連携しているのか知りたいです。性格など細かいところまで、確認しているのでしょうか。

A:保育園・幼稚園からの申し送りを、参考に学級編制を行います。また、学校や学級担任が入学後、子供が円滑に学級になじめるように事前に指導の参考としています。

Q:小学校で使用している教科書は板橋区は全校共通か。共通の場合、数ある教科書の中でどの程度の難易度の教科書なのか。板橋区内での小学校のごとの学力の差はどの位あるか、ある場合はその差をどのようにして埋める取り組みを行っているか。

A:区で使用する教科書を決めています。国の定める学習指導要領に基づきつくられ、また検定に合格したものが教科書となります。小学校の教科書は、内容や難易度についてほとんど差はありません。しかし、教科書会社ごとに問題の出し方や表現や扱う演習例、数や深さには違いがあります。板橋区では、基礎的な学力や内容はしっかりと網羅された教科書を使用しています。

学力の差は、学校の差ではなく、個人の学力の違いです。本校では一人一人の力を伸ばすために、教員の指導力向上に

向けた研修を行ったり、先行学習を取り入れたりし、一人も取りこぼさない指導を心がけています。

Q:最近の小学生の傾向や学童との連携についてはいかがですか。

A: 小学校でもスマートフォン関連のトラブルが聞かれます。ある学校から友達の画像を面白おかしく編集してラインで拡散するという事案の報告がありました。

本校ではスマートフォンの学校への持ち込みは認めていません。また家庭での使用も推奨していません。もし、お子さんに持たせる場合は、利用のきまりを家庭でしっかりと決めることが望ましいことを子供や保護者に伝えていきます。

その他、健康面では視力が弱い子供が低学年から増える傾向がみられます。ゲームやスマートフォンの使用について、目の健康の点からも真剣に考えていくことが大切だと思います。本校では休み時間には外遊びをすることを推奨し、体力面だけではなく、健康面も配慮した取り組みをしています。

学童（あいキッズ）とは常に情報共有をしています。トラブルがあった際も連携して対応しています。

Q:就学までにできておいたほうがいいことは何ですか。（例えば椅子に座って話が聞ける、ひらがなが読める、書ける等）

A:例えば椅子に座って話が聞けるかなど心配される保護者の方もいらっしゃいますが、本校の1年生は全員座って話

が聞けます。

私の取り組みを例にお話しさせていただきます。保育園、幼稚園の時は落ち着きがなくても、お兄さん、お姉さんになったんだという意欲に満ちあふれて入学します。私は入学後3日間、椅子に座る、お話をしっかり聞けるなどどんな些細なことでも褒めることを一つでも多くみつけて褒めています。

子供たち一人一人の認められたいという欲求を十分満たしてあげられるように心を配っています。そうすることで、よい行動は、クラス全体に広めるようにしています。そして、子供たちは大人が思っている以上に、いろいろなことができますと信じています。実際にできます。過剰な声かけやサポートはしないようにしています。子供たちの“やってみたい”を見守り、応援し、“うまくいかなかったら考える”のサイクルを大切にしています。

そのように取り組んでいった結果、子供は離席せず落ち着いて学習に取り組むようになります。私の取り組み以外にも各校では、スタートカリキュラムなどにのっとり、担任がそれぞれの指導方法で子供たちを指導しますのでご安心ください。

Q:家から子供が登校する際に、自分で鍵をかけてくる子がどれくらいいるのが気になります。

A:具体的な人数は把握していませんが、自分で鍵をかけ登校してくる1年生はいます。家庭の都合はそれぞれですので、親子でよく話合うとよいと思います。ま

た、登校時間より遅れてくることは、一日の学校生活に出遅れてしまいますので、今から早起きの習慣が身に付くようにしたいものです。

Q:授業についていけるか、学校の雰囲気や先生の接し方はどうですか。

A:授業に関しては、例えば算数では、少人数指導を取り入れ、個に応じたきめ細やかな指導をしています。

学校の雰囲気については、本校も以前は、授業中に廊下に出てしまったり、話が聞けなかったりする子供がいたりしました。また、放課後の公園でのトラブルで地域の方から電話を頂くこともありました。しかし、丁寧に指導を積み重ね、また保護者と連携することによって、現在はとても落ち着いており、朝会など全体で話をきくときもしっかり聴いています。ここ数年、子供はやるときはやるというメリハリをもって生活をしています。

教職員と保護者や子供の距離が近く、困ったことがあったら相談していただき、すぐに対応できるようになっています。是非、中根橋小学校に入学してください。待っています。

Q:先生とのやりとりはできますか。

A:心配なことなどがありましたらいつでもご相談ください。子供の成長のために情報共有を密にして取り組んでいきます。